

話題



地域の催し物やまちのできごとを写真で紹介します。

自立と社会参加を目指して(石巻)

2月2日(木)から6日(月)まで、市内あけほのにある大型スーパーで、「宮城県立石巻養護学校 児童生徒作品展」が開催されました。これは、交流教育の一環として、平成元年度から行われているもので、今年も、小学部・中学部・高等部の児童生徒の作品約180点が展示されました。

訪れた人は、タマネギ版画などで絵を描いたカレンダーや作業学習で作られた陶芸作品、高等部が修学旅行で訪れた沖縄本島の発泡スチロール製立体地図などに見入っていました。



おいしい“カキ”ができました!(牡鹿)

牡鹿地区の大原小学校で1月29日(日)、ふるさと学習の集大成となる「かき祭り」が行われました。

児童は、これまで地域の方々の協力をもらいながら体験してきた、カキ養殖などの学習成果を学年ごとに発表しました。

6年生は、3年前から育ててきたカキを使い、カキの春巻きやカキ汁など3品の料理を作り、会場を訪れた父母や地域の方々に振る舞いました。



力を合わせて ソーレ!(河南)

駐在所のお巡りさんが、綱引きや縄跳びの審判をして、スポーツ少年団の団員や家族と交流を深める「河南地区駐在所杯争奪綱引き・縄跳び大会」が2月5日(日)、広淵小学校講堂で行われました。

「地域と警察が力を合わせて青少年の健全育成に取り組もう!」をスローガンに始まった大会は、今年で22回目を迎えました。

大会には、12のスポーツ少年団の団員や家族が参加し、各種目で熱戦を繰り広げました。



見事な演技に拍手喝さい(桃生)

桃生地区の芸達者が一堂に集結し「桃生地区芸能祭」が1月29日(日)、桃生文化交流会館で行われました。

これは、市民の皆さんに芸能鑑賞の場を提供するとともに、愛好者・愛好会の助長を図ろうと桃生文化協会が行っているものです。舞踊や歌、楽器演奏など28演目に約180人が参加しました。

出演者の皆さんは、日頃の練習の成果を十分に発揮し、会場からの温かい拍手に後押しされ、すばらしい演技を披露していました。

まちの



このコーナーでは、



鬼は～そと! 福は～うち!(河北)

2月3日(金)節分の日、市内の各幼稚園や保育所で、豆まきが行われました。

その内、飯野川保育所では、子どもたちが楽しそうに歌をうたっている所へ、突然、赤鬼、青鬼、紫鬼が乱入。逃げ惑う子どもや鬼を追いかける子どもで、保育所内は騒然となる中、先生が「鬼は～そと、福は～うち」と豆をまくと鬼は渋々退散しました。鬼がいなくなった後、まいた豆をみんなでおいしそうに食べました。

暦の上ではもう春です。春と一緒にたくさんの福が来るといいですね。



明るい笑いが福を呼ぶ(雄勝)

1月24日(火)、県の無形民俗文化財に指定されている「おめつき」が名振地区で行われました。

とてもめずらしいこのおまつりは全国的にもよく知られており、この日も地区内外から大勢のお客さんが訪れ、1日中賑わいをみせていました。

秋葉神社で家内安全、大漁を祈願したあと、丁印(ちょうじるし)を先頭に山車(だし)が威勢よく地区内を練り歩きました。「にわか寸劇」が演じられる4つの講では、ちょっとエッチな寸劇が演じられるたびに、お客さんからは大きな笑い声と歓声が沸きおこり、当日の寒さを吹き飛ばすほどの熱気につつまれていました。



文化財を火災から守ろう(北上)

文化財防火訓練が、1月22日(日)北上地区白浜の鹿島神社で行われました。この訓練は祖先が郷土に永く伝承してきた貴重な文化財を、地域住民と関係機関の連携により、火災などの災害から守ろうと行われました。

この日の訓練では、神社付近の住民による119番通報訓練や防火クラブ会員による初期消火訓練が行われました。また、通報を受けて地元消防団各班の連携による実地放水訓練が行われ、参加した消防団員は真剣な表情で訓練に取り組んでいました。